



県議会議員

おかべ光子

クローバー通信



議会にて質問を行う

◎おかべ光子
男女共同参画・女性活躍の機運を高めていく、機運を持続させ、本県における女性活躍を一層盛り上げるとともに、男女が共に働きやすい環境づくりを



G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を契機とした県の取組について

◎おかべ光子
食糧生産の源である農業を、未



農業を支える新たな担い手の確保・育成について

地域農業の維持、発展に影響を



大田原市ねぎ共同出荷調整施設を視察

私は新たな担い手を確保育成していくために、**栃木の農業の魅力**を積極的に発信し、意欲あ

でなく、女性も活躍する方が増えてきている。女性ならではの視点や感性を生かすことで、新たな可能性を高めてくれると期待をしております、**女性の農業への参画をより一層促進していくことが重要**である。県は農業分野における女性の活躍促進にどのように取り組んでいくのか。

▲農政部長

「**栃木ヴィーナスラボ**」を活用し、女性農業者同士の交流、それから経営能力の向上などを支援している。女性が活躍する姿を、ウェブサイトやSNSなどで広く発信し、男性側に、女性参画の重要性について理解を深めるセミナーを開催している。

▲農政部長

県内外の若者に対し、**就業支援サイト**「とちの」により若手農業者の活躍する姿を動画配信、農作業体会や県内外での**就業相談会等を開催**していく。また希望者を着実に就農へと導き、定着を図るため、**栃木農業経営就農支援センター**において、研修先や農地の斡旋仲介に加え、経営開始時の費用負担の軽減や普及指導員による技術指導の実施など、個々の状況に応じた伴走型のきめ細かな支援を行っている。

◎おかべ光子

農業分野においても女性が輝けるよう、環境整備、そして各種セミナーなどの開催など、要望をお願いしたい。女性を含む次世代の若者を取り込みながら、**栃木県の明るい農業を支えていく**、担い手の育成にも、さらなる応援をお願いする。

▲福田知事

推進し「**女性にも選ばれる栃木県**」になるようにすることが今後、重要である。知事は、**11月22日**を「**とも家事の日**」に制定した。更なる女性活躍推進に向けて、県だけでなく、多くの企業などが取組みに参画する仕組みを作るなど、この「とも家事」を社会全体に広げていくことも必要である。そこで女性が自信に溢れ、男女が共に輝くところを作るため、**県は今後どのように取り組んでいくのか**。



佐野市での「とも家事」キャンペーン
栃木県生活文化スポーツ部 野原部長と

ペインを展開し、「とも家事」は思いやりを持って、身近な生活における気づきを促し、幅広い企業団体の理解と参画を得ながら一層の推進を図っていく。本県の女性活躍推進の加速を図り、誰もが個性や能力を発揮しながら活躍できる**栃木の実現**を目指していく。

◎おかべ光子

様々な施策を力強く押し進めながら、**新たな担い手の確保・育成**に取り組んでいた。最近農業において若者だけ



農業環境委員会現地調査(足利市)



菊沢川(田島町)での堆積土除去作業の様子

◎おかべ光子
 一級河川菊沢川の上流部において、菊沢川放水路の完成に続き、改修工事に着手しているため、市街地における洪水の防止や被害の軽減につながるものと期待する。下流部は、令和元年東日本台風により、渡良瀬川合流地点から国道50号の上流部、田島町にかけて浸水をし、住民生活に甚大な被害をもたらした。河道部が屈曲し狭小であるところに、樹木が繁茂するなど流化能力が不足していることが要因であると考えられる。近年の自然災害が激甚化、頻発化をしていることを踏まえ、**と、下流部についても早急に改修が必要だ。**また、菊沢川下流の改修工事が実現すれば、

▲県土整備部長
 沿線において、佐野市による新たな産業団地等の整備が計画

現在周辺に立地する企業の水害に対する不安も払拭をされ、今後整備が進む**産業拠点への立地を考える企業の安全安心にもつながる。**
 このような状況を踏まえ、今後県は国土強靱化および防災減災対策として一級河川菊沢川の改修にどのように取り組んでいくのか。



旗川(赤見町・小中町)改修工事の様子

◎おかべ光子
 前回質問をした県南西部地域における広域道路整備にも関連するが、菊沢川の整備が進むことにより、田島町を横断する国道50号沿線の開発とも高い相乗効果が見込まれる。地域未来投資促進法に基づく基本計画において、佐野市と野木町の一部が重点促進区域に設定をされました。佐野市においては、正にこの国道50号沿いエリアがその区域であり、開発を予定しているところである。この開発整備により佐野市のみならず、周辺県南地域全体の産業復興、活性化が見込まれる。**菊沢川下流部の早**



出流川(赤見町)堆積土除去・立木伐採の様子

期改修を重ねて要望する。県は本市において令和元年東日本台風による浸水被害などを踏まえ、秋山川、旗川、出流川、小曾戸川など河川整備を着実に進めていたが、自然災害が激甚化、頻発化をしており、住民は、今なお不安を抱いている。引き続きの**堤防強化、河川の堆積土除去、立木伐採等、**合わせてお願いをしたい。



一級河川菊沢川の改修について



県土木事務所による桐生岩舟線-本町工区整備に関する説明会

◎おかべ光子
 都市計画道路・県道桐生岩舟線には佐野市役所を中心とした市街地における東西のシンボル軸として、街中の活性化を支えるとともに災害発生時には市役所への主要アクセス路として、**第二次緊急輸送道路のネットワークを構成し、様々な**

防災拠点と接続連絡をし合う重要な路線である。この都市計画道路を整備することは、古くからの商店街、文化施設なども立地をする沿道の景観の向上や佐野ラーメン等の「ご当地グルメ満喫ルート」として、観光復興にも寄与し、**街中の活性化に資するものである**と考える。現在進められている都市計画道路3・4・1号前橋水戸線の佐野市街地周辺の整備と進捗状況について県土整備部長にお伺いする。

▲県土整備部長
 高砂町工区については、これまで9割の用地を取得し、**道路北側の歩道および電線共同溝の整備を完了させた。**今年度は残る用地の取得と南側の歩道及び電線共同溝の整備などを進めいく。また、**大橋工区については、これまで約8割の用地を取得し、仮橋を設置した。**引き続き残る用地の取得や既設橋の撤去、橋梁の下部方工事を進めていく。今後とも佐野市と連携し、地元関係者の協力を得

ながら、事業を着実に進めていく。
◎おかべ光子
 この都市計画道路は、正に佐野市の顔、表玄関ともいえるべき道路であり、街中活性化を支えるシンボルロードである。また、**サイクルツーリズム県南地域でモデルルート渡良瀬エイトの一部を構成する道路**でもある。現在事業が進んでいる工区のほか、未整備区間の早期整備についても合わせて要望する。

第398回通常会議

質問項目(12月7日)

- 1 G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を契機とした県の取組について
- 2 スポーツを活用した地域活性化の推進について
- 3 こどもまんなか社会から考える里親制度の推進について
- 4 県産木材の利用拡大に向けた取組について
- 5 農業を支える新たな担い手の確保・育成について
- 6 都市計画道路3・4・1号前橋水戸線の整備について
- 7 一級河川菊沢川の改修について



皆様のご意見をお寄せください!!

おかべ光子事務所
 佐野市相生町673
 TEL 0283-23-5152
 FAX 0283-24-3017

QRコードで議会中継



詳しい情報は栃木県議会中継の「おかべみつこ」のページにてご覧いただけます。

編集後記

今回は令和5年度の県議会での質問内容を報告いたしました。令和6年度は経済企業委員会副委員長として佐野市発展のため、さらなる活動を進めてまいります。



菊川町会のみなさんと菊沢川の清掃



山形寺岡線の歩道整備が完了しました